

令和4年度 第1回下野市生涯学習推進協議会議 議事録

- 審議会等名 令和4年度 第1回下野市生涯学習推進協議会議
- 日 時 令和4年7月12日(火) 午前10時から正午まで
- 会 場 下野市役所3階 教育委員会室
- 出席者 鈴木健一会長、楡木久美子副会長、田澤孝一委員、石川知子委員、上野文夫委員、
下山千恵子委員、梅山博行委員、大垣玉枝委員、松本文男委員、菊地孝宏委員
- 市側出席者 広瀬寿雄市長(生涯学習推進本部長)、石崎雅也教育長(生涯学習推進本部副部長)
(事務局)生涯学習文化課 浅香浩幸課長、近藤隆博主幹、大塚隆邦主査、本橋優花主事
- ・公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)
- ・傍聴人 なし
- ・報道機関 なし
- ・議事録(概要) 作成年月日 令和4年8月5日(金)

【協議事項等】

1. 開会

2. 委嘱状交付

広瀬市長より代表して田澤委員へ交付

3. あいさつ〈広瀬市長〉

委員の皆様には、今回の委嘱を快くお引き受けいただき厚く御礼申し上げます。本市においては、生涯学習推進計画(第三次)が今年度で2年目となる。幸せを実感できるまちづくりを進めるうえでは、生涯を通じての学習意欲を持つこと、地域に愛着を持つことが重要である。その姿が、次代を担う若い世代へ大きな影響を及ぼすと思われる。この生涯学習推進協議会の果たすべき役割は非常に大きなものである。これからの下野市のために、皆様のお力添えをお願い申し上げます。

4. 委員・事務局自己紹介

5. 正・副会長の選出について

(事務局) 正副会長が決まるまでの間、進行は生涯学習推進本部副部長である石崎教育長にお願いする。

(石崎教育長) 下野市生涯学習推進協議会設置要綱第5条第2項に基づき、正副会長の選出は互選となる。委員の皆様のご意見を伺いたい。

(梅山委員) 事務局案があればお示しいただきたい。

(事務局) 事務局としては、鈴木委員に会長を、楡木委員に副会長をお願いしたいと考えているがいかがか。

(委員一同) 異議なし

6. 議事

(事務局) これより議事の進行は会長にお願いする。

(1) 下野市生涯学習推進計画(第三次)について

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 下野市生涯学習推進計画(第三次)の概要を説明。

(鈴木会長) 計画について質問や意見はあるか。

(大垣委員) 計画P31に記載の障がいを持つ子と親を対象とした学習会が行われているのは、大変有意義なものであると思われる。今後も引き続き実施をお願いしたい。

(石川委員) 各課で様々な事業を展開されているかと思うが、公民館の広報力や企画・運営力などの強みを活用していただき、課と公民館等の施設が協働して事業に取り組んでいただきたい。

(事務局) いただいたご意見は担当課の生涯学習推進員へ報告し、次年度の事業計画に盛り込むよう検討する。

(鈴木会長) その他、計画について意見等はあるか。

(委員一同) 意見なし

(2) 令和4年度協議会スケジュールについて

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料「令和4年度下野市生涯学習推進協議会スケジュール」に基づいて説明。本協議会は全3回の開催を予定している。第2回会議(9月)で令和5年度生涯学習事業への提言をまとめていただき、その提言に基づいて10~11月に各課で令和5年度生涯学習実施計画(案)を作成する。その後、生涯学習推進本部会(1月または2月)にて実施計画の決定を行う。第3回会議(3月)では、決定された実施計画について報告をさせていただく予定である。

(鈴木会長) スケジュールについて質問や意見はあるか。

(梅山委員) 第2回会議で提言をまとめるとなると、事前に意見書の提出などが必要になってくるのではないか。

(事務局) 第2回会議開催前に、郵送またはメールにて委員の皆様からの意見を頂戴したいと考えている。

(鈴木会長) 公民館では、8月頃から次年度の講座企画を始めると耳にした。来年度は9月ではなくもう少し早めに提言をまとめられるとよいかと考える。その他、意見等はあるか。

(委員一同) 意見なし

(事務局) 提言時期については検討させていただく。

(3) 令和3年度生涯学習実績報告について

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料「令和3年度下野市生涯学習事業実績報告書」に基づいて説明。昨年度実施した生涯学習関連事業は273事業であり、そのうち令和3年度事業への提言に該当する事業は17事業であった。令和4年度は277事業の実施が計画されている。

(鈴木会長) 令和3年度実績報告について質問や意見はあるか。

(田澤委員) 提言に応じた事業を実施していただいております、とてもありがたいと思う。事業数が昨年度よりも増加しているとのことだが、それが良いこととは限らない。事業を企画運営する現場がパンクして、事業の質が下がることのないように調整していただきたい。

(下山委員) 国分寺図書館で開催された「自治医科大学予防医学講座」を受講したが、腰痛と感染症がテーマに取り上げられており、受講者のニーズに沿った事業であった。大変好評で

あったため今後もぜひ開催していただきたい。

(上野委員) 人気な公民館講座では、抽選により受講できない場合がある。次年度の講座企画時には、落選してしまった方が受講できるよう人気講座は継続するなど、ニーズをよく汲み取っていただきたい。

(大垣委員) 児童館では、核家族化などが原因で相談相手がいないという保護者をサポートする事業を行っており、多くの方が参加している。土日には小学生対象のイベントを企画するなど、みんなが楽しく過ごせる場所づくりに努めていただいている。

(鈴木会長) その他、意見等はあるか。

(委員一同) 意見なし

(4) 令和4年度生涯学習実施状況について

(5) 令和5年度事業への提言について

(鈴木会長) 議案(4)(5)は関連するため、続けて事務局より説明を求める。

(事務局) 資料「令和4年度生涯学習事業実施状況」、資料「令和5年度事業への提言に向けた基本的な方針について」に基づいて説明。昨年度取りまとめた令和4年度事業への提言では、1. 「命を守る」生涯学習・社会教育の取り組み強化 2. ICT活用・デジタルデバイド解消に向けた施策の推進 3. 子ども・若者・子育て世代の地域・社会への参画の推進に注力していただくよう求めた。

(鈴木会長) 下野市の社会教育における課題を、令和5年度事業への提言に盛り込んでいきたいと考えている。忌憚のないご意見をいただきたい。

(松本委員) 私が所属する下野市青少年育成市民会議では、インターネットとの関わり方を学ぶ「親子学び合い事業」を各学校で展開している。スマホやパソコンの操作方法に関する事業だけではなく、ネットモラルに関する事業も実施していただきたい。

(菊地委員) 資料5に「本市独自の課題を解決すべく～」とあるが、これまでの会議や本部会などで挙げられている事項があれば教えていただきたい。

(事務局) 具体的に挙げられているものはないが、SDGs、デジタルデバイス、リカレント教育など社会教育に求められる様々な課題を本市に落とし込み、この協議会で本市における課題を見出して提言に反映していただければと考えている。

(梅山委員) 防災士資格やボランティアコーディネーション力検定合格者への助成制度があることを初めて知った。もっと自治会などへの周知を強化していただきたい。また、ハード面のことになるため難しい点もあるかと思われるが、体育館へ冷暖房を設置していただくとさらに利用者の枠を広げることができるのではないかと考える。

(大垣委員) 昨年度から実施されている「ママナビ～小学校ってどんなところ?～」は、昨年度は石橋地区のみ、今年度は石橋地区と南河内小中学校にて開催している。自分の子どもが通う学校を知りたい保護者は多くいると思う。ぜひ全小学校での開催を検討していただきたい。

(事務局) 講師をしていただいている下野市家庭教育支援チームひばりとも相談のうえ、いずれは全小学校での開催をできるよう体制を整えていきたいと考えている。

(楡木委員) 現在、ヤングケアラーの増加が社会的な問題として取り上げられているが、下野市の把握事例はあるのか。

(事務局) 現時点では把握してはいない。

(田澤委員) 学校においては、スクールカウンセラーが各学校にて相談を受けており、その中にヤングケアラーと思われる子がいた際には教育委員会へ報告することとなっている。現状報告は上がっていないようだが、ヤングケアラーに該当する子がいる可能性は大いにあるため先生方も注視している。

(鈴木会長) その他、意見等はあるか。

(委員一同) 意見なし

7. その他

(事務局) 次回は9月13日(火) 10時～教育委員会室にて開催する。また、今年度の生涯学習文化課事業概要をまとめた冊子をお配りしたので、後ほどご確認いただきたい。

8. 閉会